

福祉まつり参加

12月4日(日)、銚子市市民センターを会場にして、第32回銚子市福祉まつりが「心豊かに生きる」をテーマに開催され、しおさいも参加しました。

今年は、約700個のパン類の他、焼きそば、おにぎり弁当を製造・販売しました。また、就労移行支援の職員とメンバーが畑で育てたサラダ菜とタアサイ、自家製のサツマイモチップス、キウイフルーツを販売しました。

販売は式典や表彰式終了後の午前10時10分からでしたが、今回はそれより前からどんどんお客様が来てしまい、当初はやや混乱状況となりました。しかし、職員とメンバーが手際良く販売を行ったことにより、次第に落ち着いて行きました。お陰様でお昼過ぎには野菜も含めて全て完売すること出来ました。購入して下さいた皆さんありがとうございました。



しおさい春日の布製品販売コーナーでは、色とりどりの布製品やマスコット人形などを販売しました。



黒潮会(家族会)では、薬味としてネギ、パクチー、にんにくが選べる水餃子と、パック入りの生餃子を販売しました。



交流餅つき大会

12月12日(木)、ナルク銚子主催による「交流餅つき大会」が、かんらのメンバーも参加して、しおさい春日・のぞみの中庭で行われました。

第1部の“交流会”では、のぞみのメンバーによるディズニーの歌やしおさい春日のメンバー数名による“変なおじさん”の歌と踊りで場を盛り上げ、その後、“小さな世界”や“今日の日はさようなら”、“きよし この夜”を参加者全員で歌いました。そして、じゃんけん大会では、勝ち残った人に景品が当たるとあって、和やかな雰囲気の中でも、真剣な表情で楽しんでいました。

第2部の“餅つき大会”は、衛生面に細心の注意を払ったナルク銚子の皆さんが、前日から準備した餅米を当日セイロで蒸し、2台の臼と杵でつきあげました。それをお雑煮やあんこ餅、からみ餅にして下さいましたので、皆でおいしく頂きました。また会場では、恒例のポップコーンマシーンで作った出来立てのポップコーンの配布も行われました。

ナルク銚子の皆さんありがとうございました。



クリスマス会開催

12月26日(月)、しおさい三崎において、クリスマス会を開催しました。会食に続いて行われたビンゴ大会では、誰もが「早く景品をゲットしたい」と思い始めましたが、中々自分のカードの数字があかずにヤキモキする人もいたりして、あちこちから笑い声やため息が上がっていました。また、続いて行われた伝言ゲームならぬ伝“画”ゲームでは、みかんが途中でりんごやどう言う訳か焼き網に変わってしまったり、時計がなぜか猫に変わってしまったりして笑いを誘っていました。



～編集後記～

※下の写真ではやや見難いのですが、肉眼ではもっとはっきり見えていました！！

“やっぱり銚子はいい所だなあ”と思う瞬間があります。昨年12月28日の夕方、夕焼けがキレイだったので愛宕山に行きましたら、九十九里浜越しに富士山(銚子から約200km)がシルエット状に見えていました。銚子から富士山が見えることは気象条件等が整えばそう珍しいことではないのですが、この日は、銚子の市街地と利根川そして筑波連山越しに日光男体山(銚子から約170km)も遠望出来ました。埼玉県東部など関東平野の真ん中辺りに行けば、南の富士山と北の日光男体山を同時に望める場所はたくさんあると思いますが、千葉県海匝地域や茨城県の鹿行地域では銚子(愛宕山)だけが、あったとしても数が少ないと思います。のんきな話でした。

